

令和2年度

団体の名称	事業概要
事業名	
私市笑話会	私市エリアは住宅開発に伴い若い世代の流入が増えているが、1970年代から開発された住宅地では高齢者のみの世帯も増加し孤立が進んでいる。このような課題を解決するために、新しく私市エリアに居住された方、これから居住される方を主な対象として、地域の魅力を紹介し、地域の市民活動への参加を促す情報提供の冊子を作成する。
高齢者の地域活動参加促進 世代間交流推進のための啓発冊子作成	
天野が原町1・5丁目自治会	天野が原町1・5丁目自治会では、令和2年4月下旬より自治会として独自のリサイクルを開始しているが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、ごみが増量しており、併せて感染症の啓発対策も必要となっている。本事業によってリサイクル推進の啓発チラシ配布し、併せて新型コロナウイルス感染症対策グッズに特化した啓発物品を配布することで、リサイクル推進と感染症拡大予防の啓発を行う。
循環型リサイクル社会の創出 リサイクル推進によるごみ削減 新型コロナウイルス感染症啓発事業	
妙見東まちづくり委員会 交通問題検討部会	妙見東地区の地域交通問題を解決するために、理解促進と基盤整備を行っていく。平成31年度には基礎知識の理解促進のための勉強会を開催したが、本年度事業によって妙見東・南星台・妙見坂から星田駅前方面への新たな交通システムを試行する。交通改善と併せて、地元の商店活性化に向けて協議する。
ユニバーサルソサエティ妙見東	
カタノティーンズハローワーク	若いうちからキャリアデザインを考えるきっかけづくりとして、平成31年度には地域の仕事への思いを綴った冊子を中高生に配布したが、今年度はより広く推進するために、実際に仕事への思いをインタビューした動画を作成し、配信する。新型コロナウイルス感染症拡大予防の中でも可能な形態で、キャリアデザインのきっかけづくりを行う。
カタノティーンズハローワーク	
郷土の歴史を語る会	寺地区内には歴史的資産がたくさんあるが、新たな住宅開発等に伴い流入している若い世代への歴史・伝統について、高齢者や有識者から話を行う機会がなく、結果として地域の成り立ちについて無関心者が非常に多くなっている。郷土愛を盛り上げていくために、勉強会を開催し、世代間の交流促進につなげていく。
郷土の歴史を語る会	